



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成26年8月6日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
 コード番号 2432 URL http://dena.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)守安 功
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長 (氏名)柴田 大介 (TEL)03(6758)7200
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 四半期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益 合計額 | |
|-------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-----------------------|-------|----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 35,819 | △31.3 | 6,975 | △59.0 | 6,722 | △61.8 | 4,033 | △59.2 | 3,769 | △60.6 | 3,182 | △72.6 |
| 26年3月期第1四半期 | 52,158 | 9.6 | 16,991 | △7.6 | 17,581 | △2.7 | 9,882 | △4.2 | 9,575 | △4.2 | 11,595 | 27.3 |

| | 基本的1株当たり 四半期利益 | 希薄化後1株当たり 四半期利益 |
|-------------|-------------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 29.09 | 29.01 |
| 26年3月期第1四半期 | 72.07 | 71.89 |

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する資本合計 | 親会社所有者 帰属持分比率 |
|-------------|---------|---------|----------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 195,464 | 142,606 | 137,537 | 70.4 |
| 26年3月期 | 197,325 | 145,555 | 140,600 | 71.3 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 37.00 | 37.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 0.00 | — | — | — |

- (注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無 : 無
 2. 平成27年3月期の配当予想は未定です。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 親会社の所有者に帰属 する当期利益 | | 基本的1株当たり当期 利益(予想) | |
|-----------|--------|-------|--------|-------|----------------------|-------|----------------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 第2四半期(累計) | 71,400 | △28.5 | 12,700 | △60.4 | 6,600 | △64.3 | 50 .94 | |
| 通期 | — | — | — | — | — | — | — | |

- (注) 1. 当四半期における業績予想の修正有無 : 有
 2. 通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 27年3月期1Q | 150,810,033株 | 26年3月期 | 150,810,033株 |
| 27年3月期1Q | 21,226,026株 | 26年3月期 | 21,283,601株 |
| 27年3月期1Q | 129,559,782株 | 26年3月期1Q | 132,861,671株 |

- (注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(27年3月期1Q:619,805株、26年3月期:648,844株)を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等は、(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- (2) 配当予想金額に関して

平成27年3月期の配当予想に関しましては、当社は業績連動型の配当を実施することを基本方針としているため、通期の業績予想について開示が可能となった時点で配当予想額についても速やかに開示いたします。なお、配当予想の開示を行う時期としましては、平成27年3月期第3四半期決算発表の時点を見込んでおります。

- (3) 決算補足資料の入手方法

当社は、平成26年8月6日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 | 5 |
| 3. 要約四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 6 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書 | 8 |
| (3) 要約四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (4) 要約四半期連結持分変動計算書 | 10 |
| (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (6) 継続企業の前提に関する注記 | 12 |
| (7) 要約四半期連結財務諸表注記 | 12 |
| (8) 重要な後発事象に関する注記 | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで、以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、景気は穏やかな回復基調が続きました。海外景気の下振れは、引き続き国内景気を下押しするリスクとなっております。

国内スマートフォン契約数は、平成26年3月末の5,734万件から平成31年3月末には1億300万件にまで増加すると予測されており、普及が続いております（株式会社MM総研調べ）。また、世界的にもスマートフォンの普及が進んでおります。

このような状況の下、当社グループは、平成27年3月期をグローバルインターネットプレイヤーとして企業価値を持続的に向上させる事業基盤を構築する事業年度と位置付け、コスト管理の徹底を図りながら、既存事業の強化と成長事業の創出に向けた必要な投資を積極的に行っていく方針を立て、取り組みを進めております。

当第1四半期におきましては、国内ゲーム事業の売上収益が、利用低迷により前年同期比で減少いたしました。一方、費用面では、ゲーム内課金の決済関連費用等の変動費の減少と販売促進費・広告宣伝費のコントロールにより、売上原価、販売費及び一般管理費ともに前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当社グループの売上収益は35,819百万円（前年同期比31.3%減）、営業利益は6,975百万円（同59.0%減）、税引前四半期利益は6,722百万円（同61.8%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,769百万円（同60.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ソーシャルメディア事業

当第1四半期の国内ゲーム事業におきましては、平成26年3月期に引き続き、新規タイトルの提供を進めましたが、既存タイトルでの利用低下に伴う売上収益の減少を補うまでには至らず、ゲーム内仮想通貨モバコインの消費高は、前年同期比31%減の376億円となりました。

海外ゲーム事業におきましては、欧米向けでは、提供タイトルのジャンル拡大に向けた取り組みを進めましたが、既存タイトルでの利用低下を補うまでには至りませんでした。中国向けでは、既存タイトルに加え有力IP（知的財産）を活用する新規タイトルの拡充を進めました。

電子マンガ雑誌「マンガボックス」は、ユーザの拡大が順調に進みました。仮想ライブ空間「Showroom」は、コンテンツ、ユーザの双方の裾野を広げる取り組みを進めました。

以上の結果、ソーシャルメディア事業の売上収益は、28,522百万円（前年同期比36.7%減）、セグメント利益は、利益率の高い国内ゲーム事業の売上収益減少等により、8,075百万円（同54.8%減）となりました。

②EC事業

ショッピングサービスにおいては、総合ショッピングサイト「DeNAショッピング」（「auショッピングモール」を含む。）を中核に、食料品・日用品分野に注力しました。当第1四半期のショッピング取扱高は、149億円（前年同期比17%増）となりました。決済代行サービスを提供する株式会社ペイジェント及び「DeNAトラベル」等の旅行代理店サービスの取扱高は増加しました。オークションサービスにおいては、オークションサイト「モバオク」（「auモバオク」を含む。）の有料会員数は減少しました。

以上の結果、EC事業の売上収益は4,483百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は、積極的な集客策等の実施により、685百万円（同22.7%減）となりました。

③その他

株式会社横浜DeNAベイスターズは、主催試合の入場者数が前年同期比で順調に増加し、売上収益の拡大に寄与しました。

以上の結果、その他の売上収益は2,814百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は308百万円（同110.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は195,464百万円（前連結会計年度末比1,860百万円減）となりました。

流動資産は110,418百万円（同891百万円減）となりました。主な減少要因は売掛金及びその他の短期債権が3,849百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は85,046百万円（同970百万円減）となりました。主な減少要因は持分法で会計処理している投資が1,451百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は51,577百万円（同845百万円増）となりました。主な増加要因はその他の流動負債が2,629百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債は1,282百万円（同244百万円増）となりました。

この結果、負債合計は52,858百万円（同1,088百万円増）となりました。

資本合計は、142,606百万円（同2,949百万円減）となりました。主な減少要因は資本剰余金が1,442百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第1四半期連結会計期間末において流動比率214.1%、親会社所有者帰属持分比率70.4%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,456百万円増加し、66,850百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10,804百万円（前年同四半期は869百万円の支出）となりました。主な収入要因は税引前四半期利益6,722百万円、売掛金及びその他の短期債権の減少額3,787百万円であり、主な支出要因は買掛金及びその他の短期債務の減少額2,788百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4,821百万円（前年同四半期は3,736百万円の支出）となりました。主な支出要因は無形資産の取得3,791百万円、有価証券及び投資有価証券の取得のための支出755百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4,457百万円（前年同四半期は16,287百万円の支出）となりました。主な支出要因は配当金支払額4,464百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①ソーシャルメディア事業

国内ゲーム事業におきましては、アプリ市場向けの新規タイトル投入による利用の活性化に努めてまいります。海外ゲーム事業におきましては、欧米向けでは、幅広いジャンルのタイトル提供により利用を拡大する戦略を推進し、今後市場拡大が見込まれる中国向けでは、有力IPを活用するタイトルの開発・提供に取り組んでまいります。ゲーム事業との相乗効果も見込めるIP創出プラットフォーム（「マンガボックス」「Showroom」等）のユーザ基盤の強化にも注力してまいります。

②EC事業

ショッピングは、「DeNAショッピング」を中核に、パートナー企業との連携を最大限に活用しながら、引き続き、食品・日用品分野の強化に、決済代行サービス及び旅行代理店サービスにおきましては、取扱高の拡大に取り組んでまいります。

③その他

中長期で成長する構造的な強みを持つ事業を創出するべく、ヘルスケアの分野に注力してまいります。平成26年8月より一般消費者向け遺伝子検査サービス「MYCODE（マイコード）」を開始する予定です。

販売費及び一般管理費については、コストコントロールを適切に実施し経費節減に努めてまいります。

連結業績見通しにつきましては、当社グループの主力事業であるゲーム関連市場は国内外ともにその成長速度を

予測することが難しいことや、ユーザの嗜好や人気タイトルの有無等、様々な不確定要素に収益が大きく左右されること等から、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難なため、四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させていただきます。

平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想は、収益の柱である国内ゲーム事業におきまして、既存ブラウザ市場向けタイトルでの利用低下に伴う売上収益の減少をアプリ市場向け新規タイトルで補える状況までには至らないこと等により、前年同期比で減収減益となる見込みです。

上記に記載した将来に関する記述は、現時点の情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、様々な不確定要素により上記内容と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

重要な会計方針

以下に記載される場合を除き、当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、平成26年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループが、当第1四半期連結会計期間より適用している主な基準は以下のとおりであります。

| IFRS | | 新設・改訂内容 |
|-----------|---------|----------------------|
| IAS第32号 | 金融商品：表示 | 相殺表示の要件の明確化及び適用指針の追加 |
| IFRIC第21号 | 賦課金 | 賦課金の負債認識に関する取扱いの明確化 |

それぞれの経過規定に準拠して適用しており、上記の基準書については当第1四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期 連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|----------------|-------------------------|----------------------------------|
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 65,394 | 66,850 |
| 売掛金及びその他の短期債権 | 37,803 | 33,954 |
| その他の短期金融資産 | 1,025 | 1,086 |
| その他の流動資産 | 7,086 | 8,527 |
| 流動資産合計 | 111,309 | 110,418 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,311 | 3,173 |
| のれん | 42,730 | 42,052 |
| 無形資産 | 15,089 | 15,923 |
| 持分法で会計処理している投資 | 9,197 | 7,746 |
| その他の長期金融資産 | 12,627 | 13,023 |
| 繰延税金資産 | 2,996 | 3,060 |
| その他の非流動資産 | 67 | 69 |
| 非流動資産合計 | 86,016 | 85,046 |
| 資産合計 | 197,325 | 195,464 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期 連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金及びその他の短期債務 | 26,206 | 23,299 |
| 未払法人所得税 | 2,525 | 2,600 |
| その他の短期金融負債 | 11,981 | 13,028 |
| その他の流動負債 | 10,021 | 12,650 |
| 流動負債合計 | 50,732 | 51,577 |
| 非流動負債 | | |
| 非流動の引当金 | 951 | 952 |
| その他の長期金融負債 | 9 | 9 |
| その他の非流動負債 | 78 | 321 |
| 非流動負債合計 | 1,038 | 1,282 |
| 負債合計 | 51,770 | 52,858 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 10,397 | 10,397 |
| 資本剰余金 | 10,965 | 9,523 |
| 利益剰余金 | 153,072 | 152,048 |
| 自己株式 | △44,290 | △44,135 |
| その他の資本の構成要素 | 10,456 | 9,704 |
| 親会社の所有者に帰属する資本合計 | 140,600 | 137,537 |
| 非支配持分 | 4,955 | 5,069 |
| 資本合計 | 145,555 | 142,606 |
| 負債及び資本合計 | 197,325 | 195,464 |

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 売上収益 | 52,158 | 35,819 |
| 売上原価 | △15,859 | △13,701 |
| 売上総利益 | 36,299 | 22,118 |
| 販売費及び一般管理費 | △19,122 | △14,389 |
| その他の収益 | 132 | 294 |
| その他の費用 | △318 | △1,048 |
| 営業利益 | 16,991 | 6,975 |
| 金融収益 | 262 | 22 |
| 金融費用 | △9 | △289 |
| 持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分 | 337 | 14 |
| 税引前四半期利益 | 17,581 | 6,722 |
| 法人所得税費用 | △7,699 | △2,689 |
| 四半期利益 | 9,882 | 4,033 |
| 以下に帰属する四半期利益 | | |
| 四半期利益：親会社の所有者に帰属 | 9,575 | 3,769 |
| 四半期利益：非支配持分に帰属 | 307 | 264 |
| 合計 | 9,882 | 4,033 |

(単位：円)

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益

| | | |
|----------------|-------|-------|
| 基本的1株当たり四半期利益 | 72.07 | 29.09 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益 | 71.89 | 29.01 |

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------------------------|---|---|
| 四半期利益 | 9,882 | 4,033 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後) | | |
| 資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後) | 3 | △200 |
| その他 | △0 | △0 |
| 純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計 | 3 | △200 |
| 純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳 項目(税引後) | | |
| 為替換算差額(税引後) | 1,694 | △647 |
| その他 | 16 | △4 |
| 純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳 項目(税引後)合計 | 1,710 | △651 |
| その他の包括利益(税引後) | 1,713 | △851 |
| 四半期包括利益合計 | 11,595 | 3,182 |
| 以下に帰属する四半期包括利益 | | |
| 四半期包括利益：親会社の所有者に帰属 | 11,288 | 2,918 |
| 四半期包括利益：非支配持分に帰属 | 307 | 264 |
| 合計 | 11,595 | 3,182 |

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位: 百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の 資本の 構成要素 | 親会社の 所有者に 帰属する 資本合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|---------------------|--------|--------|---------|---------|---------------------|------------------------------|-------|---------|
| 平成25年4月1日現在 | 10,397 | 10,361 | 127,927 | △34,724 | 5,298 | 119,259 | 4,416 | 123,676 |
| 四半期利益 | — | — | 9,575 | — | — | 9,575 | 307 | 9,882 |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | 1,713 | 1,713 | 1 | 1,713 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | 9,575 | — | 1,713 | 11,288 | 307 | 11,595 |
| 所有者への分配として認識した配当 | — | — | △6,698 | — | — | △6,698 | △150 | △6,848 |
| 自己株式取引による増加 (減少) | — | △104 | — | △9,703 | △42 | △9,850 | — | △9,850 |
| 株式報酬取引による増加 (減少) | — | 96 | — | — | 79 | 176 | — | 176 |
| 非支配持分の取得及び処分等 | — | 458 | — | — | — | 458 | △458 | — |
| 平成25年6月30日現在 | 10,397 | 10,812 | 130,805 | △44,427 | 7,047 | 114,633 | 4,115 | 118,748 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位: 百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の 資本の 構成要素 | 親会社の 所有者に 帰属する 資本合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|---------------------|--------|--------|---------|---------|---------------------|------------------------------|-------|---------|
| 平成26年4月1日現在 | 10,397 | 10,965 | 153,072 | △44,290 | 10,456 | 140,600 | 4,955 | 145,555 |
| 四半期利益 | — | — | 3,769 | — | — | 3,769 | 264 | 4,033 |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | △851 | △851 | △0 | △851 |
| 四半期包括利益合計 | — | — | 3,769 | — | △851 | 2,918 | 264 | 3,182 |
| 所有者への分配として認識した配当 | — | — | △4,792 | — | — | △4,792 | △150 | △4,942 |
| 自己株式取引による増加 (減少) | — | △90 | — | 155 | △54 | 12 | — | 12 |
| 株式報酬取引による増加 (減少) | — | 109 | — | — | 152 | 261 | — | 261 |
| 非支配持分の取得及び処分等 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 関連会社に対する所有者持分の変動 | — | △1,461 | — | — | — | △1,461 | — | △1,461 |
| 平成26年6月30日現在 | 10,397 | 9,523 | 152,048 | △44,135 | 9,704 | 137,537 | 5,069 | 142,606 |

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期利益 | 17,581 | 6,722 |
| 減価償却費及び償却費 | 1,952 | 2,462 |
| 受取利息及び受取配当金 | △13 | △13 |
| 支払利息 | 1 | 3 |
| 売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加) | 1,186 | 3,787 |
| 買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少) | △350 | △2,788 |
| その他 | 79 | 2,979 |
| 小計 | 20,436 | 13,152 |
| 配当金受取額 | 11 | 11 |
| 利息支払額 | △1 | △3 |
| 利息受取額 | 2 | 2 |
| 法人所得税支払額 | △21,316 | △2,357 |
| 営業活動による正味キャッシュ・フロー | △869 | 10,804 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入 | 59 | 31 |
| 有価証券及び投資有価証券の取得のための支出 | △500 | △755 |
| 有形固定資産の取得 | △157 | △288 |
| 無形資産の取得 | △2,932 | △3,791 |
| その他 | △207 | △19 |
| 投資活動による正味キャッシュ・フロー | △3,736 | △4,821 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 借入れによる収入 | — | 250 |
| 借入金の返済 | △200 | △100 |
| 配当金支払額 | △6,087 | △4,464 |
| 非支配株主への配当金支払額 | △150 | △150 |
| 自己株式の取得による支出 | △9,859 | — |
| その他 | 10 | 7 |
| 財務活動による正味キャッシュ・フロー | △16,287 | △4,457 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △20,891 | 1,527 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 67,337 | 65,394 |
| 現金及び現金同等物の為替変動による影響 | 211 | △71 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 46,657 | 66,850 |

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

1 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、本社にサービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、事業本部を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「ソーシャルメディア事業」、「EC事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

| 報告セグメント | サービスの種類 |
|-------------|---|
| ソーシャルメディア事業 | ソーシャルメディア関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Mobage」等 |
| EC事業 | eコマース関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「DeNAショッピング」、「モバオク」、決済代行サービス等 |

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、平成26年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円)

| | ソーシャル メディア 事業 | EC事業 | その他 (注) 2 | 調整額 (注) 3 | 合計 |
|---------------------------------|---------------------|-------|--------------|--------------|--------|
| 売上収益 | | | | | |
| 外部顧客からの売上収益 | 45,052 | 4,348 | 2,757 | — | 52,158 |
| セグメント間の売上収益 | 15 | 569 | 58 | △642 | — |
| 計 | 45,067 | 4,917 | 2,816 | △642 | 52,158 |
| セグメント利益(注) 1 | 17,868 | 886 | 146 | △1,723 | 17,177 |
| その他の収益・費用(純額) | | | | | △186 |
| 営業利益 | | | | | 16,991 |
| 金融収益・費用(純額) | | | | | 253 |
| 持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分 | | | | | 337 |
| 税引前四半期利益 | | | | | 17,581 |

- (注) 1 セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
- 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プロ野球球団の運営等を含んでおります。
- 3 セグメント利益の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間

(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位：百万円)

| | ソーシャル メディア 事業 | EC事業 | その他 (注) 2 | 調整額 (注) 3 | 合計 |
|---------------------------------|---------------------|-------|--------------|--------------|--------|
| 売上収益 | | | | | |
| 外部顧客からの売上収益 | 28,522 | 4,483 | 2,814 | — | 35,819 |
| セグメント間の売上収益 | 15 | 381 | 50 | △446 | — |
| 計 | 28,537 | 4,864 | 2,864 | △446 | 35,819 |
| セグメント利益(注) 1 | 8,075 | 685 | 308 | △1,339 | 7,729 |
| その他の収益・費用(純額) | | | | | △754 |
| 営業利益 | | | | | 6,975 |
| 金融収益・費用(純額) | | | | | △267 |
| 持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分 | | | | | 14 |
| 税引前四半期利益 | | | | | 6,722 |

- (注) 1 セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
 2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プロ野球球団の運営等を含んでおります。
 3 セグメント利益の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円) | 9,575 | 3,769 |
| 基本的期中平均普通株式数 (株) | 132,861,671 | 129,559,782 |
| 希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等 | 327,779 | 366,097 |
| 希薄化後の期中平均普通株式数 | 133,189,450 | 129,925,879 |
| 親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円) | | |
| 基本的1株当たり四半期利益 | 72.07 | 29.09 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益 | 71.89 | 29.01 |

- (8) 重要な後発事象に関する注記
 該当事項はありません。